



(仮称)加西中央統合中学校に関わる現状について



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

問 新たな通学路となる危険箇所
の調査や点検について、北条高校・播磨農業高校との情報共有、情報収集などは、現在、どのような状況か。

答 北条高校や播磨農業高校との協議はまだ始まっていません。ただ、情報収集はすごく大事ですので、時期を見てこれから協議していきます。

熱中症対策

問 以前に、冷却リングや冷却パッドを冷凍保管し、下校時に子供たちに渡すという提案を

したが、その熱中症対策を含め、保護者ができる部分以外の教育委員会として、また学校としてできる対策は。

答 学校での新たな対策として、今年度は徒歩通学の児童には、登校時に使用したジェルパッドを学校内の専用の冷蔵庫で冷やし、下校時に使用させることを予定しており、そのための冷蔵庫を用意しています。

スクールバスについて

問 現在のスクールバスの利用基準である学校から2キロ以上について、近年の猛暑環境を踏まえて、見直しを検討する考えはあるのか。

答 大量輸送を8時までの限られた時間内で、バスの台数、ダイヤやルートを考えていくと、全てが過密になり、予算以外の面でも実現性は難しいため、バス以

外の方策も絡めて検討し、熱中症対策は行っていきたいと考えています。

(教育長) 通学に関しては、基本的には保護者の責任で行うというのが国の見解で、市としては、非常に子どもたちが暑い中で困っているの、バスを走らせています。その2キロというのは、決して本市だけのことではありません。通学に関して、市も含め教育委員会が全てを行うということは物理的に不可能です。ジェルパッドも、市から支給するということなので、活用していきながらお互いに協力しながらやっていきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ 学校教育の現状について
- ・ 救急車の減車に関する市長の説明責任



市長の行政執行を問う ⑦



森田 博美 議員
(清流会・かさいを育む会)

要望

事あるごとに市民への利便性の向上と言われるが、行政としての説明責任に基づく情報開示がお粗末で不十分。議会制民主主義と二元代表制の認識を軽んじており、行政執行を取り上げて質問する。

問 市議に対する「おまえ」発言の撤回と謝罪を求める。人権行政推進の責任者としても問題発言で放置できず、看過できない問題だ。

答 (市長) 原因があるから事象が発生するわけで、前回に答弁したとおりです。議事録を確認していただきたい。何回も言いましたが反省はしています。

問 暴言発言を解決せずして、総合教育センターの研修講座の講師が務まるのか。教育委員会は付度したのか。

答 (市長) 全く失礼な意見です。要請に基づいたもので、押し込んだことではありません。(教育長) 決して付度したものではありません。

問 来庁者駐車場について行政内部の検討作業を確認すべく情報開示請求を行ったが、開示された文書の極めて不十分な内容に憤慨している。庁舎増築の残予算を流用するのは問題であり、疑問や不審に誠実に向き合う行政で

はないのか。

答 (市長) 同じ工事費であり流用とは言いません。12月議会で駐車場の問題が指摘され、幅を広げることが必要だと認識されていたと思います。予算があるからできたわけで、入札も何ら法的にも問題ないと考えてます。

問 救急車の減車については、説明責任が果たされていない。市民や議会にしっかりと説明すべきではないか。管理者会での発言内容も反省を込めて改めて説明すべきだ。開き直って、なおさら不安をあおっているように受け取るがどうか。

答 (市長) 管理者会はざっくばらんな議論も必要な場所です。それをいちいち記録に残すのもどうかと思います。北はりま消防組合が専門処理されて、責任を持って対応されています。